

保険業界向けAI活用セミナー開催

導入方法・取組事例を共有

AI検索エンジン「Felo」を開発・提供するFelo(株)は8月8日、東京都千代田区の丸ビルEGGで「保険業界におけるAI活用セミナー」を開催した。保険業界では顧客ニーズの多様化や競争激化に対応するため、AI技術を活用した業務効率化やサービス向上への取り組みが急速に進む一方、具体的な導入方法や効果的な取組事例に関する情報共有の場が限られていることから、実際にAI導入を進めている企業の実例を通じて保険業界のAI活用可能性と課題について紹介するとともに、参加者同士の情報交換の場を設けることを目的に実施した。当日は保険業界関係者が多数参加した。



実務家によるパネルディスカッションを実施

セミナーの冒頭、Feloの代表取締役社長、事業開発責任者を務める榎井夏生氏が自社について紹介した。同社は2024年7月に設立されたスタートアップで、次世代型AI検索エンジン「Felo」の開発・提供を行っている。世界で120万ユーザーを持ち、最近ではシリーズAラウンドで海外投資家を中心に約15億円を調達。すでに国内大手企業が顧客になっているほか、AWSやKDDIなどがパートナーに名を連ねている。

2日思考を用いて深く多角的に情報を分析する「プロフェッショナル検索」を備えており、検索結果を自動でマインドマップ形式に変換したり、スライド形式に生成したりすることが可能で、それをPowerPointやPDF、Notion・利用できる。ファイル作成、ファクトチェックなど業務ごとに約30個のAIエージェントを標準装備しており、日常業務の生産性向上に効果を発揮する。また「トピック集」では、検索結果や情報をトピックとして保存し、後で簡単にアクセス・利用できる。ファイル

の同社の取り組みについて紹介した上で、阪尾氏は「近年、AIエージェントのデータ基盤を開発したり、AIエージェントをプリセットで提供したりする取り組みを進めており、その一環でFeloとも協業している」と説明。保険業界での事例を紹介した上で、AIエージェントによるデモンストレーションを行った。

次に登壇した三井住友海上ビジネスデザイン部AIインフィニティラボチーム長の桑田修平氏は、「保険業界におけるAI活用の未来」をテーマに、現在までの生成AIの取り組みや、今後の保険業界の展望などについて発表した。日本デラード(株)パートナー本部AIビジネス開発室の阪尾素

保険実務家によるパネルディスカッションも

「Felo Search」では、LLM(大規模言語モデル)の活用により多言語対応で高精度な検索結果を提供する。自然言語での質問に対してAIが意図を理解し、複数の情報源から情報を集約・要約して回答する「会話型検索」と、グローバルの情報源を参照し、推論モデルや5W

やURLをインポートできる他、NotionやGmailといったサービスともMCP連携していることから、例えばチーム内の簡易RAGを構築するなど、さまざまな

行室長は、「保険業界で具体的な活用シナリオとマに発表した。日本で長年にわたってデータベスソフトウェアの販売やコンサルティングなど各種サービスを提供している

最後に、一般社団法人保険健全化推進機構結心会の上野直昭会長が「保険代理店の業務フロー化とFelo導入事例」をテーマに発表した。上野氏は、主に全国の保険ショップ代理店を会員とする結心会を立ち上げた経緯



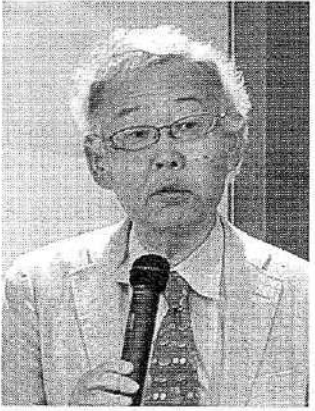
榎井氏



阪尾氏



桑田氏



上野氏

インシュアテックをめぐる法的論点

吉澤卓哉 京都産業大学教授

第14回日本保険学会賞(著書の部)受賞

進展するインシュアテックが保険システムにもたらす影響と変容とは――

現行の保険法や業法はどう対処すべきかを解釈論や立法論から迫る

ISBN978-4-89293-459-9 (2023年3月刊)
●A5判・306頁 ●定価4,180円(税込)/送料660円(税込)

お申込みはFAXまたはWEBで
FAX 03-5816-2863
https://www.homai.co.jp/
◎◎保険毎日新聞社
東京都台東区台東4-14-8
シモンパークビル2F
TEL 03-5816-2861

呼び掛けた。最後のセッションとして、「保険業界ビジネスのAI化機会・展望と課題」をテーマにパネルディスカッションが行われ、保険ビジネスに携わ

セミナー終了後には、名刺交換の場が設けられ、セミナー登壇者や参加者は保険業界のAI活用などについて意見交換